

白浜レスキューネットワーク通信 8月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

8月1日～8月31日

電話件数 86件

保護件数 7件 (男性 5名 / 女性 2名)

帰宅件数 1件

○1日、役場の福祉係からの連絡を受け、20代の男性を保護した。精神疾患を持ちながらも、自分を変えていきたいという意識があり、共同生活に加わった。

○1日、同日、役場の福祉係に相談をした20代の夫婦を保護した。生活に困窮し、仕事を探している状態であった。共同生活に加わり、就職活動をしていくことになった。

○1日、深夜、以前に共同生活に加わりたいと電話で相談していた男性を駅で保護した。ひきこもりの生活から抜け出したいとのことだった。

○26日、三段壁にて男性を保護。職場での人間関係がうまくいかず、仕事をクビになり、生活に困って相談に来た。まちなかキッチンでの職業訓練を受けたいとのことであったが、自分本位などところがあり、共同生活には馴染めないとのこと、一泊してから帰宅した。

○28日、夕方、三段壁で40代の男性を保護。認知症の母親を介護していたが、介護による疲れと、仕事をしたいという葛藤から死を覚悟して三段壁に来たが、最後の一步が出ず電話をくれた。話をする中で、仕事をがんばりたいという意志を自分自身で確認し、自立に向けて共同生活に加わることになった。

○28日、夜、三段壁で20代の女性を保護。職場でうまくいかず、三段壁に。共同生活に加わることになった。

生活自立支援活動

8月1日～8月31日

滞在者数 13人(男性 11人,女性 2人)

自立 2人

自主退所 1人

○8日、1日の深夜に保護した男性が、警備会社の面接を受けた。無事に採用が決まり、翌日早朝からさっそく仕事に入った。

○10日夜、1日に保護した夫婦の奥さんが、共同生活に加わったことで溜まっていたフラストレーションが爆発した。もともと精神疾患を患っており、薬が欲しいと訴えていた。なんとか布団に連れて行くと少し落ち着いた。旦那さんとの関わりで不満をもっていた。今後、夫婦の関係のあり方にも介入していく必要がある。

○13日、1日に保護した20代の男性が、共同生活に耐えられなくなり、実家に戻ることになった。実家に戻った後もメールで連絡を取っている。

○19日、1日に保護し、警備会社に勤めていた男性が、「足が痛いので病院に行きます」と言ってから、帰ってこなくなった。途中、理事長が見つけて声を掛けるも、振り切って行ってしまった。翌日の深夜に警察に保護されると連絡があり、話をして再び共同生活に加わることになった。

○23日、1日に保護した夫婦が、近くのホテルでの就職が決まった。即日社員寮に入れるとのことで、寮に移った。今後、こまめに顔を出しますと自立して行った。

○24日、まちなかキッチンで働く50代の男性が、40代の共同生活者に不満を表明した。よく

よく話を聞いていると、不満をもったきっかけとなる原因は、別の40代の男性にあり、3人と解決を図った。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

弁当部門は、ホテル、民宿などから大量の注文があり、連日230個ほどの注文が来た。大量の注文があった一ヶ月であったが、配達が遅れることも少なく、一人一人のレベルアップを感じることができた。

惣菜部門は、安定した売上を8月も継続することができた。移動販売ではクーラーボックスをフル稼働し、商品が痛まないように注意を払った。

店舗の営業では、高校生バイトがほぼ毎日2名シフトに入り、お弁当の注文作業、店舗での販売などを行った。ソフトクリームや冷やしうどんも好評であった。

・放課後クラブ「コペルくん」

8月に入り、サマースペシャルに来るメンバーが安定し、1日平均35人ほどの子どもが参加した。今年は感謝なことに全国から多くのボランティアが来た。一緒に勉強をしたり、遊んだりと一人一人の子どもたちに沢山の大人が関わることができ、子どもたちにとっても良い経験になったと思う。4～5日に1泊のキャンプを行った。25人ほどの子どもが参加し、町内のプール、スイカ割り、うどん作り&流しうどんなど盛りだくさんのプログラムを行うことができた。25日、26日にはコペリンピックと称して運動会イベントを町内の小学校、隣町の公園を使って行なった。暑い中ではあったが、体調を崩す子も出ず、楽しい思い出を作れたのではないかと考えている。また、地域の方々の協力によって、ファミリーバトミントンの試合、音楽の発表会なども行なった。



コペリンピックでの様子

・相談電話

3日、10日、17日、24日、31日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・講演活動

- 2日(火) 三重県で事例報告
- 4日(木) 田辺市で講演

・ボランティア受け入れ

1日	明治学院大学	1名
2日	聖書宣教会	2名
3日	東京国際基督教会	2名
	横浜市立大学	1名
4日	永福南キリスト教会	1名
13日	関西国際大学	6名
16日	東京基督教大学	2名
22日	登戸エクレシア教会	7名
23日	YWAM	9名